祝 開校50周年　50ème anniversaire, depuis1973

日仏文化学院

パリ日本人学校

「あ・な・た」を大切にする 心のふるさとパリ日

校　訓

明るく
仲よく
たくましく

令和5年度 学校だより
第4号 7月3日発行

ふづき・ふみづき（文月）7月到来 ～1学期のしめくくりの時～

7月となりました。旧暦の7月は「文月（ふづき・ふみづき）」と呼ばれました。七夕の短冊に文字を書くことからきているとも言われますが諸説あるようです。夏休みまではあと約3週間です。1 学期のまとめの時期となります。これまでの成果と課題を振り返り、個人としても学年としても、夏休みに向けて良いしめくくりの時としましょう。

開校50周年記念運動会 ハプニングを乗り越え無事終了！ 6/10（土）

6月10日の開校50周年記念運動会では、朝のバス配車で大きなハプニングがありながらも、皆様のご協力で無事に終えることができました。

スローガン「燃えろ 9色の勇者達(チャレンジャー) ～50周年 新たなページをつくりだそう～」のとおりの運動会になった感じがします。

開会式の開始後にグランドに現れるご家庭も見られましたが、応援合戦の頃にはほぼ全員が揃い、予定のプログラムをすべて実施しました。

閉会式の得点発表では、赤白同点で同時優勝となりました。片付けも含めて、多くの皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

《開会式》

入場行進がコロナ禍の後、久しぶりに復活。短い距離でしたが見事な行進でした。開会宣言が小学部1年生4人によって行われ大きな喝采を受けていました。ご来賓を代表して、本校平塚副理事長からご挨拶をいただきました。赤・白応援団長による力強い選手宣誓の後、ラベンダー体操が体育委員会主導で行われました。今後の本校の伝統となる準備体操でした。

《応援合戦》

　開始直前に応援団員が到着したチームもありましたが、素早く入れ替わり、何事もなかったかのように応援合戦が繰り広げられました。短い時間の中にも気持ちもこもった応援でした。

《競技》

　「赤白玉入れ」「赤白綱引き」「赤白大玉ころがし」「表現種目」（小1・2）アロハ・エ・コモ・マイ、（小3・4）パリ日ソーラン2023、（小5・6）一致団結　Dance&Try、（中学部）新時代、（全校）50周年おめでとうに続き、フィナーレは全員による「全校リレー」でした。どの競技にも一生懸命に真剣に取り組むひたむきな姿が見られました。

《閉会式》

　パリ日史上初（？）赤白両チーム優勝で双方の応援団長に優勝杯授与。ハプニングを乗り越え、50周年記念運動会は、その名にふさわしい感動の幕切れとなりました。様々な面でのご協力ありがとうございました。

中学部「オンライン高校説明会」実施　6/16（金）

日本から3校、パリから1校、イギリスから2校の高等学校が参加し、オンラインによる高校説明会が実施されました。本校では中学部の全生徒と保護者の皆様が参加しました。インターネットなどの通信環境が進歩している現代ですが、やはり直接説明していただくことは、ホームページで検索したり紙の資料を眺めるのとは違うリアリティがあります。

途中何度か廊下側から全生徒の様子をうかがいましたが、本校生徒の皆さんは真剣に聞き入っていました。自分が受験する学校とは直接関係がない場合も、現在高等学校やその先の大学が求めている人物像が伝わる感じでした。学校によっては時差もあり、たいへんお忙しい中にもかかわらず本校のためにご準備いただいた6校、に改めて感謝を申し上げます。

《参加校》 ①筑波大学附属坂戸高等学校 ②国際基督教大学高等学校 ③同志社国際高等学校
④International school of Paris ⑤立教英国学院 ⑥帝京ロンドン学園

日本の伝統や文化について知る　武道講演会実施　6/19日（月）

～天心流兵法　師範　鍬海政雲さん～

5校時、全校児童生徒が参加して武道講演会が実施されました。講師の鍬海政雲（くわみ　まさくも）さんは、ヨーロッパ各地を巡りながら武道の指導をしている途中で、パリでも指導の機会があり、縁あって本校の児童生徒のために講演会をしていただくこととなりました。主に江戸時代の武士についてお話をいただいた後、実際にフランス人のお弟子さんとの居合を披露していただきました。迫真の演武に、少々暑かった体育館内にもかかわらず、全校の児童生徒が集中して見入っていました。

日仏の文化交流・教育交流を掲げる本校としては、今回のような日本の伝統文化に直接触れる経験を貴重な機会ととらえています。また、今回アシスタントで二人のフランス人にお手伝いをしていただきましたが、我々以上に日本の武道のことを知っているフランス人の存在にも改めて驚かされました。私たちはフランスのことをもっと知ると同時に、日本のことも知っていかなければならないことを教えられた気がしています。

小学部2年生 「山下農園」見学　6/21日（水）

澄み切った青空の下、2年生が山下農園を見学しました。山下農園の野菜は、パリにある複数の星付きレストランに納品しているとのことで、レストラン業界の方には大変好評だそうです。これまでもトマトなどの苗を寄付していただき、学校農園に植える際に直接ご指導いただいていました。今回は実際に野菜を育てている現場を見学し、説明をしていただきました。耕運機の運転もさせていただき、みんな大喜びでした。また、とれたてのキュウリ、カブ、ニンジンなどを試食させていただき、新鮮さと味わいに舌鼓を打っていました。

今年は5月に寒さが続いた後、6月にはたいへんな暑さが続き、学校農園の野菜の成長が心配ですが、子どもたちも水やりを頑張っています。無事に美味しい野菜が収穫できると良いですね。

小学部3年生　社会見学「モンティニー市役所」訪問　6/23日（金）

　3年生が社会科の学習の一環として、パリ日のあるモンティニー市の市役所を訪問しました。教育長、市長秘書官らが出迎えて下さり、最初に市議会の議場を案内していただきました。実際に市長さんや議員さんの座る席で説明を聞いたりクイズに答えたり、子供たちが質問をしたりしました。議場にはフランス大統領の写真や EU の旗、姉妹都市として交流のある国の旗が飾られていました。

　次に結婚式場を案内していただき、児童の代表が新郎新婦、立会人役となり、模擬結婚式を行いました。その後、市長室を訪問し、

市長さんに直接質問をしました。様々な質問に丁寧に答えていただきました。また、市長さんのはからいで市長室のテラスに出てみんなで記念撮影をしました。

　最後に市役所の一角でハチを飼っている場所を案内していただきました。ハチが生きていけることが自然環境が保たれていることの証明になるとのことです。今回の訪問の記念として、全員にはちみつをいただきました。また、パリ日でも花をたくさん育ててハチが生きやすい環境を作ってくださいと、花の種をいただきました。ぜひ咲かせたいですね。

小学部5・6年生　体験学習　6/27（火）～30（金）　ロワール方面

～5・6年生の「絆」がいっそう深まりました～

【主な日程】

1日目　オルレアン市内見学、シャンボール城見学
2日目　ポワティエ・ティソンカヌー体験とアクティビティ体験
3日目　PUY DE FOU 見学、ダンスパーティー
4日目　シュノンソー城、シューベルニ城見学

（1日目）バスで学校を出発し、まず、オルレアンというジャンヌダルクゆかりの街を見学。白い建物が美しく立ち並ぶ街で、ジャンヌの生涯がステンドグラスで見られるサントクロワ大聖堂やジャンヌが滞在した家を見学しました。午後はシャンボール城を見学、レオナルドダビンチが考案したと伝えられている二重らせん階段を上りました。真っ青な空に白いお城が映えていました。

（2日目）猛暑の中、ポエアチエの野外体験施設で主にカヌー体験をしました。6年生には昨年度経験のある児童もいて、上手に乗りこなしていました。5年生も最初はぎこちなかったのですが、終了間際には上手に乗れるようになっていました。宿舎に帰ってからは、翌日の PUY DE FOU 見学にあたっての班ごとの会議が行われ、どの班も6年生のリーダーを中心に活発な話し合いが行われました。

（3日目）PUY DE FOU の一日見学で、班ごとに決めたショーを見学しました。前日会議のとおり回れた班も予定変更をした班もありましたが、本物のショーにみな満足顔でした。

　宿舎に帰ってからは「ダンスパーティー」が開かれ、全員が狭い会場にも関わらず思い切り踊りました。5，6年生の中にさらに一体感が生まれた感じがしました。

（4日目）宿舎を後にして、水に浮かぶシュノンソー城とベルギーの人気マンガ「タンタン」の舞台にもなったシューベルニ城を見学しました。どちらも美しいお城で、ロワール地方でもたいへん人気があるお城であることを実感できました。

　全日程で好天に恵まれ、全員が4日間の日程を無事に終了しました。ポワチエという歴史のある街に3連泊して、ガイドの平野さんの丁寧な案内もあり、ロワール方面の名所を巡り、歴史的・文化的な知識もたいへん豊富になりました。

　今回の体験学習は、先生方のサポートの下、実行委員長（総務大臣）を中心として、それぞれの活動で自覚を持った行動が展開できたのを実感しました。特に PUY DE FOU 見学にあたっての前日会議や当日の行動、バスレクの企画と運営、ダンスパーティーの企画と運営等では、参加児童の協力がすばらしく、参加者の「絆」が深まっていくのを間近に感じることができました。

　ところで、今回の体験学習期間中に全員が「毎日一句」俳句を詠むという課題がありました。どんな句が集まるか、今からたいへん楽しみです。ちなみに、5月に実施した中学部の宿泊学習でも素晴らしい俳句や短歌がたくさん寄せられました。

　最終日には宿の前で退所式を行い、支配人さんたちお世話になった方々にお礼の言葉を伝え、プレゼントを渡しました。たいへん喜んでくださいました。宿舎の方からの感想を直接聞けなかったのが残念です。最後に、今回の体験学習は全体として成功したと言えるでしょう。しかし、個々の場面を振り返ったとき、まだまだ課題もあるのではないかと思います。1学期もあとわずかとなる今、今回の成果と課題を明らかにし、ぞれぞれの学年がさらに進歩して、パリ日小学部の要（かなめ）となっていくことを願っています。

“特集” 祝開校50周年 ～温故知新・パリ日の「宝」～（第2部）

【第2回】45年間パリ日を見守る“校旗”

運動会開会式の入場行進で、先頭を行く生徒会長の KK さんが持っていた校旗を覚えていますか。

実際に持っていたKさんに感想を聞いてみました。「校旗はズシリと重く、それと同時にこれを持つのは“選ばれし者”というような誇りを感じました。」と語っていました。

パリ日の歴史と伝統の重みを感じさせるようなこの校旗、普段は校長室の奥に大切に保管されていて、卒業式や入学式などの大きな行事の時にしか目にすることがありません。

今回、この校旗の由来を調べたところ、昭和53年（1978年）11月9日に、当時の砂田重民（すなだ しげたみ）文部大臣（現在は文部科学大臣）から寄贈されたことがわかりました。当時の内閣総理大臣は福田赳夫さんで、同じ年の7月14日に当時のパリ日トロカデロ校舎を訪れています。

実はこの年、1978年の運動会は9月23日に開催され「創立5周年記念秋季大運動会」という名前で行われていました。今回の運動会が「開校 50 周年記念」でしたから、ちょうど45年前になります。当時のパリ日には運動場がなかったので、シュッセ運動場を借りて実施していました。残念ながら、この時には今回紹介した校旗はまだありませんでした。でも、創立5周年にふさわしく、今回と同じように堂々とした入場行進が行われたのではないかと想像ができます。

あれから45年間、校旗は数々のパリ日の行事や児童生徒の活躍を見守ってきました。そして、これからもずっと見守っていくことでしょう。やはり、これもパリ日の「宝」の一つと言えるのではないでしょうか。